

分類	NO.	テーマ	対象地区	参加者の発言	市長の発言	補足など	関係課
インフラ・交通	1	ふれあいバスの乗り入れについて	平賀学園台	<p>移動手段を確保してほしいということで、平賀学園台の高齢者の方々にぜひ行ってほしいということです。平賀学園台はふれあいバスが乗り入れていないそうです。</p> <p>ふれあいバスが乗り入れている地区では、70歳以上の方がフレアイカを交付されており、無料で利用できます。しかし、現在、日医大に行くバスは往復で600円かかり、70歳以上の方々にとってはかなりの負担となっています。</p> <p>ぜひふれあいバスを平賀学園台まで乗り入れていただきたいです。日医大まで来たバスが、いには野地区のバス停を回って戻ってしまうため、こちらまで来ていただけると助かります。</p> <p>また、中学生は定期を購入すると来年度は全額無料となり、利用者が増えています。その点も考慮していただければと思います。</p>	<p>印西市では車がないと生活が難しいという声が多く、地域によって状況が異なります。</p> <p>まず、フレアイカについてですが、ふれあいバスの運行が民間バスと重なると民業圧迫になるため、行政としては慎重に対応する必要があります。しかし、フレアイカを既存のバス路線に導入することで、シニアの方々が利用しやすくなると考えています。具体的には、酒々井駅から印旛に向かう路線や、印旛日本医大から佐倉に向かうバスに導入できないか検討中です。</p> <p>また、バスが通っていない地域については、タクシー助成を考えています。特に交通が不便な地域にお住まいの方々には、タクシー利用時に一定金額の助成を行うことを本郷地区で始めており、来年度には他の不便な地域にも導入できないか検討しています。</p>		交通政策課 高齢者福祉課
インフラ・交通	2	ふれあいバスの乗り入れについて	平賀学園台	<p>平賀学園台に家を購入したのは、東西線が入るという話を聞き、東京に1本で出られると思ったからです。また、私鉄があることも決め手でした。当初は不便さを感じていませんでした。</p> <p>現在、私は車でボランティア活動していますが、将来車を返納したときの移動手段が心配です。買い物や病院、食事のためにも無料バスがあれば助かります。</p> <p>印西市は病院が少なく、子育て支援が遅れている問題がありますが、住みやすいまち日本一を7年連続で達成したこともあります。特に30分圏内で日本の原風景と近代的な町並みが共存している点は珍しいです。この素晴らしい環境を残しつつ、過疎化が進む地域の対策が必要です。</p> <p>平賀学園台にはふれあいバスが通っておらず、高齢者が外出しにくい状況です。将来のためにも、ぜひふれあいバスを通してほしいと強く感じています。</p>			
インフラ・交通	3	ふれあいバスの乗り入れについて	山田	<p>ふれあいバスのこと。実家が山田の新聞店さんからこちらの方へ抜けていく。旧道で、もっと不便なところなんですね。高齢の父は免許返納したいんですけども、病院行くのも買い物も全部自分で行くしかないの、危ないので何とかしてほしい。</p>			
インフラ・交通	4	フレアイカの利用について	共通	<p>フレアイカについてですが、知らない人も多く、使い勝手が非常に悪いです。申請が必要で、自動で配布されません。申請に行く際にもバス代がかかり、片道の費用が負担になります。申請後は無料になりますが、申請自体が大変です。</p> <p>そのため、70歳になったら自動でフレアイカを配布する仕組みにするのが良いと思います。これも一つの宣伝や案内になるでしょう。</p> <p>私は印西市の中央に近いところに住んでおり、最近高齢者就労支援センターを利用するようになりましたが、交通の不便さを感じています。車を手放す時期が来たらどうするか、印西市に住み続けられるかを考えています。</p>			

分類	NO.	テーマ	対象地区	参加者の発言	市長の発言	補足など	関係課
インフラ・交通	5	乗り合いタクシーについて	印旛	移動手段についてですが、酒々井町では乗り合いタクシーが運行されています。しかし、ここから日医大の病院まで3,000円かかります。せめて500円くらいで乗り合いタクシーを利用できるようにしてほしいです。乗り合いタクシーの業者があるようなので、500円くらいで運行していただくと助かります。	乗り合いタクシーはシステムが複雑で使いにくいいため、本埜地区で運行していたスワン号も稼働率が低かったです。現在はタクシー助成が主な対策となっています。  買い物や病院への移動への支援についても、上記の通りタクシー助成の地域拡大を検討していきます。	—	交通政策課
インフラ・交通	6	地域道路の抜け道利用と渋滞の緩和について	瀬戸	双子橋ですが、朝晩の抜け道になっていて、道路が広いので車が飛ばしてきます。地域の中学生や自転車利用者にとって非常に危険です。田んぼに年間3〜4台の車が落ちることもあります。この点について対策をお願いしたいです	師戸江川線は双子橋を渡った先にあり、印西から佐倉方面に向かう多くの方が利用しています。朝は佐倉から印西に入る路線が非常に混雑し、裏道として使われることが多いですが、ほぼ1車線のため危険です。  この道を2車線にする計画は、印旛村と印西市が合併する際の約束でしたが、10年以上動いていません。印西市の住民にとって必要な道路であるため、担当部に指示を出して整理を進めています。	—	道路建設課
インフラ・交通	7	橋梁修繕計画について	山田	この前の大雨の時に、山田橋とその先の市井橋ですか、あそこの橋桁というか、橋の下が崩れたのを知っていますか。あそこの橋が壊れた場合に基平大橋か、それこそ双子橋を通らないと。緊急の場合も。双子橋は、阪神大震災でも大丈夫だというような説明を受けて作った記憶があるんですね。緊急の場合に、その橋をもう少し橋を生かして下の道路をもう少し安全な道路にしていきたい、という住民の要望が多いんです。それをまず1つ聞いていただきたいと思ってまいりました。	山田町と市井橋の間の崖が崩れており、下に整備されていたサイクリングロードが通行止めになっています。県の管轄で入札が不調のため事業者が決まらず、進展がありません。早急に進むよう県に要望を出す予定です。	—	土木管理課
福祉・医療	8	地域包括支援センターの人員不足について	共通	地域包括支援センターの方々の働きにはいつも助けられています。ここ数年で負担が増えているようです。看護師さん、社会福祉士さん、所長さん、コーディネーターさんの4人が手いっぱい状態です。人員を増やしていただくと、より良い支援ができるのではないかと思います。	地域包括支援センターについて、この地域は印旛地域包括支援センターが担当しています。市内には5カ所の支所があり、それぞれの地域を担当していますが、人員不足について各センターからもご意見をいただいているので、対応を考えてまいります。	—	高齢者福祉課
教育・子育て	9	順天堂大学との連携について	平賀学園台	大学とのコラボ事業と、順天堂大学の入り口の整備をお願いしたいです。大学側は駐車場や自転車置き場が整備されていますが、酒々井側は看板ばかりで、大学らしい入り口になっていません。急ぎませんが、きれいな大学らしい入り口にしていただけるとありがたいです。高校側から上がっていく入り口の左側にはテニスコートがあります。	課題として感じているのは、順天堂大学と市の連携がまだ進んでいないことです。もともと印旛村にあったため、誘致に関わってきたのは印旛村の方々です。現在は印西市になり、職員と日医や順大との距離感があるように思います。  私は小さい頃から箱根駅伝を見て育ちました。今年も1秒差で予選会を通過しましたが、私も2、3日行きますので、ぜひ皆さん一緒に応援してください。日本でもこれだけオリンピック選手やパラリンピック選手がいる学校は少ないので、教育や健康福祉の分野で連携の可能性を模索しています。	—	経済振興課 企画政策課
教育・子育て	10	大学の誘致について	武西学園台	この地域に他の教育機関やIT関係の学校を誘致し、地域の拡大を図ることができればと考えています。	東京電機大学のキャンパスについてですが、現在はほぼ空になっているようです。北千住に大きなキャンパスを整備し、学部がそちらに移転したためです。このキャンパスは駅前の一等地にあり、10ヘクタール以上の広さがあります。新しい学部や大学院を含めてどうにか活用できるように動いていますので、もう少しお時間をください。	—	経済振興課 企画政策課

分類	NO.	テーマ	対象地区	参加者の発言	市長の発言	補足など	関係課
教育・子育て	11	スクールバスについて	共通	<p>小中学校のスクールバスをもっと活用する提案です。過疎化している地域と、逆に生徒数が多い地域があると思います。私は西の原小学校出身ですが現在はそちらが過密で、一方で今住んでいる平賀地区が過疎化している状況を理解しています。</p> <p>スクールバスを活用して、生徒の分散を図ることで、子供たちや教員の負担を軽減できるのではないかと思います。印西市全体を見渡したスクールバスの運行を提案します。また、小学校のタブレットの廃止も検討してほしいです。</p>	—	<p>現在、原小学校の大規模化に対応するため、原小学校区から高花小学校、いには野小学校へのスクールバスを運行しておりますが、この他にも小学校までの通学距離、通学路に危険箇所がある等の運行基準に沿ってスクールバスの運行を行っています。</p> <p>印西市全体を対象にスクールバスを運行することは、近年の人手不足によりバス運転手の確保が困難な状況などを踏まえると、現時点で市全体を対象とすることは難しいものと考えております。</p>	学務課
地域づくり	12	市民同士の交流について	共通	<p>同じ印西市民でも、地区によっては市民同士の交流がほとんどないのではないかと思います。このまま印西市ですっと暮らしていけるのか、住み続けられるのかと、最近考えるようになりました。</p>	<p>地域愛や人格形成において、つながりは非常に重要です。私は自然豊かな地域で育ち、祖父母や地域のお年よりの方々との関わりが大きな影響を与えました。大人になってからも、その思い出がよみがえります。ニュータウンでも自然なつながりを作るまちづくりを目指しています。町内会やボランティアだけでなく、お祭りなどのイベントを通じてつながりを生むことが大切と考えています。</p>	—	市民活動推進課 企画政策課 経済振興課
地域づくり	13	地域のつながりについて	共通	<p>近年、闇バイトによる強盗事件や生後間もない乳児幼児虐待殺人事件が増加しています。背景には、過酷な状況を経験した若者が虐待や闇バイトに加担するケースが多いことがあります。</p> <p>市長さんの「世界のモデルのまちづくり」というビジョンに共感しています。世界的にも心理的・精神的ストレスからくる不幸な事故が問題となっています。著書で「道徳的勇気を共感しよう」という言葉に感銘を受け、資料を作成しました。</p> <p>現代人は自分に余裕が持たず、一人になりたいと感じることが多いです。人とのつながりを煩わしく思い、ネットやSNSでの一方的なコミュニケーションに逃げがちです。日本人が育んできた伝統を大切にしながら、つながる文化を印西市を軸に広めていけたらと思います。</p>	—	—	市民活動推進課 子ども家庭課
地域づくり	14	イルミライについて	共通	—	<p>イルミライについてですが、千葉ニュータウン中央駅前で行われるライトアップイベントです。約4千万円の費用がかかっており、美しいイルミネーションが楽しめます。しかし、課題はつながりが十分に生まれていないことです。</p> <p>私は、イルミライをもっと市民のつながりを生むイベントに変えたいと考えています。例えば、市民によるワークショップや出店を増やすことで、横のつながりが生まれるはずです。全てのイベントや政策において、つながりを意識することが問題解決の鍵となります。タワーマンションの住民も含め、自然な形でつながりを作るまちづくりを目指しています。</p>	—	経済振興課

分類	NO.	テーマ	対象地区	参加者の発言	市長の発言	補足など	関係課
地域づくり	15	過疎化について	共通	—	<p>ニュータウンは現在人口が増えていますが、印旛地区（いには野を除く）では過去10年間で人口が2割減少しており、過疎化が進んでいます。私は東京に住んでいましたが、自然豊かなこの地域に戻ってきました。成田空港が近く、東京にもアクセスしやすいこの立地には大きな可能性があります。</p> <p>市としてもっと積極的に取り組むべきだと感じており、具体的な政策はまだお伝えできませんが、いろいろと仕掛けていきます。例えば、地域出身の親族が家を立てやすく、新しく移住してきた方々も住みやすい環境を整えることが重要です。調和のあるまちづくりを進めることで、過疎化を止めることができると信じています。人口を増やすことは難しいかもしれませんが、努力していきます。</p>	—	企画政策課
地域づくり	16	防犯対策について	共通	<p>外国人が不要な農機具などを求めて、地方の田舎の家に勝手に入ってくることもあり、危険です。現在、高齢者を狙った事件が多発しているため、防犯対策を強化してほしいです。</p>	<p>鍵を開けたままでは済まない時代になってきていますので、対策について持ち帰って考えさせてください。問題意識は十分に理解しています。</p>	<p>現在、防犯対策として、青色回転灯装着車両による防犯パトロールを市内全域で月～土曜日に年間を通じて実施しています。</p> <p>また、自治会などの地域団体を対象に、防犯カメラの設置費用に対する補助事業も行っていますので、ご相談ください。</p>	市民活動推進課
地域づくり	17	多国籍の方との交流・連携について	共通	<p>インターンで多くの外国人がいる中で、例えば東京の大学や東京基督教大学にも外国人がいます。先生方や働いている人たちも多く、この外国から来ている人たちに何かお手伝いをしてもらったらどうかと思いました。</p> <p>私もアメリカに行ったときに、小学校で日本の紹介を頼まれ、とても嬉しかったです。何か役に立てることは、受けること以上に嬉しいことだと感じました。印西市に住みながら、印西市の人たちの役に立っているという充実感を持てるようにしたいです。</p> <p>一つの提案として、外国の人たちがお茶を飲んだりできる場を提供し、そこで地域のために何かできないかと話し合う場を作ることです。印西市には有能な外国人資源があるので、それを生かしていくと良いと思います。</p>	<p>海外からの方々が aumentando いることは確かで、大学やデータセンターなどの産業でもその影響を感じています。連携がうまくいっていない一番の要因は言語の壁だと思います。</p> <p>既に動き出している方々もおり、例えば週に一回ボランティアで外国籍の子ども達向けの場づくりをされている方もいらっしゃいます。印西市には駐在経験者や帰国子女が多く、教育委員にも多言語を話せる方がいます。こうした方々をまちづくりに巻き込み、海外の方々との接点を作ることが重要です。また市役所内でも、言語に卓越した方々を増やすことを模索しています。</p>	—	企画政策課
地域づくり	18	多国籍の方との交流・連携について	共通	<p>（上記の発言に続いて） 移民とは違うんですか。</p>	<p>外国人と一括りにしても、それぞれ異なる背景や文化を持っています。私自身の海外経験を活かし、どのような外国人の方々に印西市を選んでいただくかも考えながら、まちづくりを進めていきたいと考えています。</p>	—	企画政策課
地域づくり	19	植樹帯について	共通	<p>印旛村の時代に、道路の草がひどかったため、40人ほどのボランティアであじさいを苗から育て、日医大から臼井、平賀からグリーブ、鎌苅から岩戸へ抜ける道をあじさい道路として整備しました。最低限の補助金をいただいていたのですが、印西市になってからは業者が年に1～2回整備するだけで、春先にはつるが被さり、あじさいが見えなくなっています。</p> <p>地域のボランティアに対して補助金を考え、地域ぐるみで整備を進めることが必要だと思います。また、師戸城の下にあるコスモス畑は、師戸の住民が10～20人で毎年整地し、市から種をいただいて育てています。</p>	<p>地域で活動してくださる方々への支援が一つの方法です。また、福岡のように花壇を企業スポンサーで管理する方法もあります。企業が資金を提供し、その代わりに企業名のプレートを設置するという広告宣伝の形です。</p> <p>印西市はまだ余裕がない部分もありますが、単にお金を使って草刈りをするのではなく、企業や地域の方々との連携で道をきれいにしたいと考えています。いただいた意見をしっかりと胸に刻み、進めていきます。</p>	—	農政課 土木管理課

分類	NO.	テーマ	対象地区	参加者の発言	市長の発言	補足など	関係課
産業・農業	20	印旛中央地区の開発について	印旛	いには野と在来の住宅は極端です。栄えている地区とイノシシが出る地区があります。	印旛中央地区についてですが、印旛支所の近くに位置し、平賀方面に向かうとセブンイレブンがあり、その先に北総自動車学校があります。この一帯は約100ヘクタールの市街化区域で、開発が可能な土地です。しかし、地形が陰しく、坂が多いため、開発には多額の費用がかかります。そのため、30年間開発が進んでいませんでした。しかし、最近では印西市の価値が上がってきており、開発の可能性が出てきています。進展があればお知らせします。	—	都市計画課
産業・農業	21	イノシシ対策について	印旛	夜の8時以降になると、イノシシが子どもを連れて出没することがあります。どこでもこのような状況です。将来の開発計画やイノシシ対策を含めて、印旛中央の開発について考えていただきたいです。	イノシシ被害は深刻な問題で、年間1000頭を駆除しても減らない状況です。私も公用車で帰る際に目撃することがあります。農家の方々にとっては大きな負担で、モチベーションが下がるのも無理はありません。現在、地区ごとに対策をモデル的に進めていますが、一つずつ取り組むしかありません。放置すると被害が増えるため、ハンターの方々頑張ってくださいますが、もう少し時間をかけて検討が必要です。	—	環境保全課
産業・農業	22	有機肥料のリサイクルについて	共通	地球環境に優しい有機肥料の製造および販売を目指しています。地元農家と協力し、各種生産物に適したオーダーメイドの有機肥料を提案したいと考えています。有機肥料づくりは農家の役に立つと信じています。  現在勤務している工場では茶殻が出ますが、安全な食品監査を受けており、リサイクル方法も確立しています。近隣の富里や八街の農家にも自家生産の堆肥を使っていると思いますが、日々の排出量を印西地区でリサイクルすることを提案したいです。	印西市に新しいクリーンセンターを吉田地区に建設予定ですが、既存のクリーンセンターよりも規模が小さいため、ゴミの量を減らす必要があります。印西市、白井市、栄町が対象となりますが、対応容量が不足しています。  成田市では民間にゴミ処理を依頼していますが、印西市でも同様の問題が発生しないよう、有機肥料の利用が一つの解決策となるかもしれません。ただし、堆肥を作る際のおいやり整備コストの問題があるため、各家庭での対応も含めて検討が必要です。  現在、どのような対応が可能かを勉強中ですので、少しお時間をいただければと思います。	—	農政課 農業委員会事務局
産業・農業	23	水田の整備について	共通	農家に嫁いだのですが、旦那が田んぼの整備をしてほしいと言っています。U字溝がまだ残っているところもあり、これでは将来、印西市で農業を続ける人たちのためにならないと感じています。  印西市にはたくさん子どもたちがいますが、彼らが将来も印西市に住み、働き、経済を回してくれるような社会を今から作っていく必要があると思います。	印西市は印旛沼と手賀沼の干拓で優良な水田が広がっています。印旛沼周辺には約2000ヘクタールの水田がありますが、場所によっては改善の余地があります。  大型機械が増える中で、狭い場所の整備が必要です。また、谷津のように機械が入れない場所も多く、先輩方がリタイアすると耕作放棄地になることが懸念されています。これが草むらになり、鳥獣の巣になることもあります。  この問題を解決するために、現在勉強を進めています。	—	農政課 農業委員会事務局
市役所づくり	24	地域担当課について	共通	ヘルメットを購入し、千円の援助を受けるために印旛支所に申し込みに行きましたが、本庁まで行かないとお金が出ない、あるいは郵送で手続きする必要があると言われました。前市長が良い取り組みしてくれたのに、手続きが不便です。  市長のマニフェストには『地域に寄り添う市役所づくり』とあり、地域担当課を設立する計画があります。ここから本庁まで30分かかるため、手続きを支所で完了できるようにしてほしいです。マニフェストの一番にある分散型の充実を実現し、手続きが簡単にできるようにしていただきたいです。	この件については、市役所内でしっかりと共有し、支所と出張所で全ての書類を受け取れるようにしていきます。	—	市民活動推進課 総務課

分類	NO.	テーマ	対象地区	参加者の発言	市長の発言	補足など	関係課
市役所づくり	25	業務の効率化について	共通	—	<p>財政についてですが、印西市は固定資産税、特にデータセンターからの収入が多いため、お金持ちだと思われることがあります。データセンターには大量のサーバーが設置されており、これらが固定資産税の対象となるため、税収が増えます。しかし、税収が増えると国からの地方交付税交付金がもらえなくなります。印西市の財政力指数は1.05で、1.0を超えると国からの地方交付金が不交付の団体となっています。一方で、子育て世代やシニア世代の方々が増加し、財政上のニーズは大きくなっています。こうした中で、業務の効率化を通じて不要な支出をなくし、より市民の皆様へ寄り添ったサービスの実行に時間をかけていくことが重要と考えています。</p>	—	総務課
市役所づくり	26	地域コーディネーターについて	共通	<p>市役所に「やってみよう課」を作り、お茶を飲みながら集まって話し合う場を提供することで、新しいアイデアが生まれるのではないかと思います。予算を必要とせず、市役所や構造センターなどの部屋を開放するだけでも、みんなが気軽に集まり、改善したいという人たちの動きが起こると思います。</p> <p>上から何かをしてもらうのではなく、自分たちで何かをしましょうという提案です。その際、市役所の中で何かをやってみようという気持ちのある人を1人か2、3人用意していただき、その人に相談できるようにします。例えば、定年退職した市役所の職員など、人脈を持っている人たちを活用することで、新しい動きが生まれると思います。</p> <p>これが市長さんのビジョンである『世界のモデルのまちづくり』に繋がりが、日本にインパクトを与える新しいモデル像が作れるのではないかと思います。</p>	<p>やってみよう課についてですが、具体的な形はまだ決まっていますが、地域コーディネーターという役割を設ける予定です。これはやってみよう課に近いもので、さまざまな活動をしたい方々が集まり、つながれる場を提供することを目指しています。</p> <p>現在、市民活動支援センターが千葉ニュータウンにある中央駅地域交流館にあり、非常に活発に活動しています。印西市は昔から市民活動が盛んで、これは良い伝統です。この延長線上で、さまざまな方々がつながる場を作っていきたいと考えています。</p> <p>具体的な取り組みについてはもう少し時間が必要ですが、これからの政策や取り組みは、つながりを意識して進めていきたいと思っています。</p>	—	総務課